



S耐チャレンジ

概要発表

一般社団法人 スーパー耐久未来機構

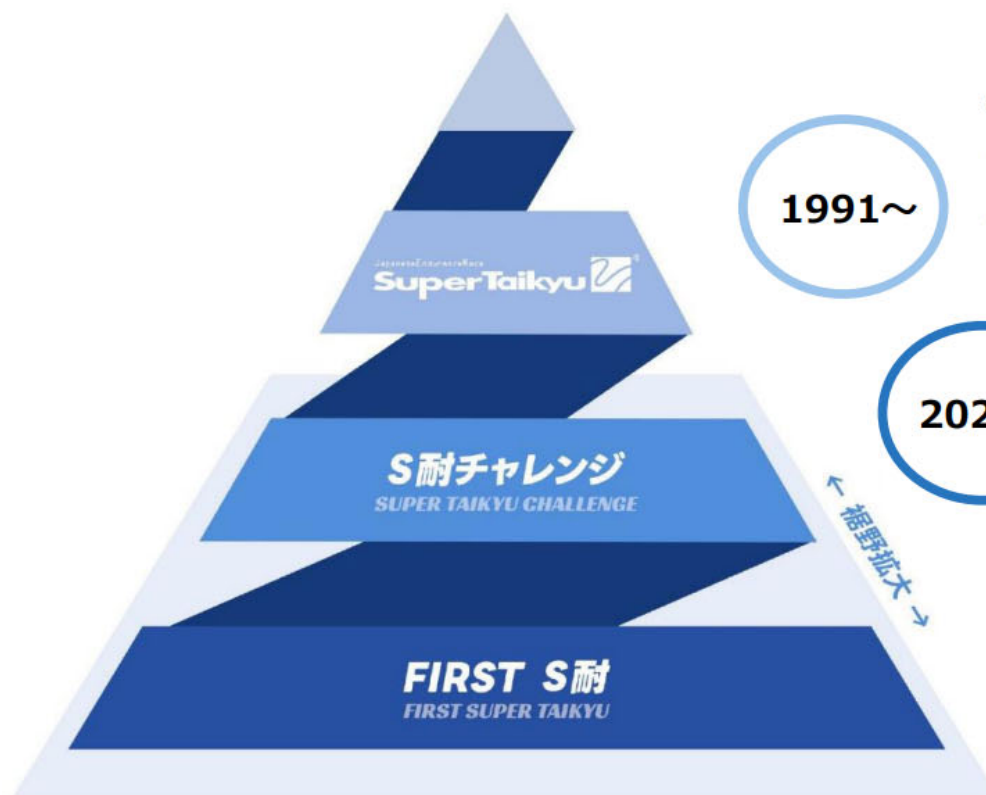
2025/5/30



1. S耐の現状と参加型モータースポーツの裾野拡大について

モータースポーツの裾野拡大を目指して

- 経済的な負担が少なく、憧れのレースに出たい「クルマ好きの夢」をかなえる チャレンジイベントを発案
- ST-Qクラス「共挑 S耐ワイガヤクラブ」の国内5メーカー様にもご助言をいただきながら企画を推進



1991~

参加型レースの頂点

1991年にスタートし、現在は海外からも注目を集める参加型レース
多様な車種、アマチュアドライバーが主役だが多くのプロドライバーも楽しむ

2025~

アマチュア層を育むカテゴリー

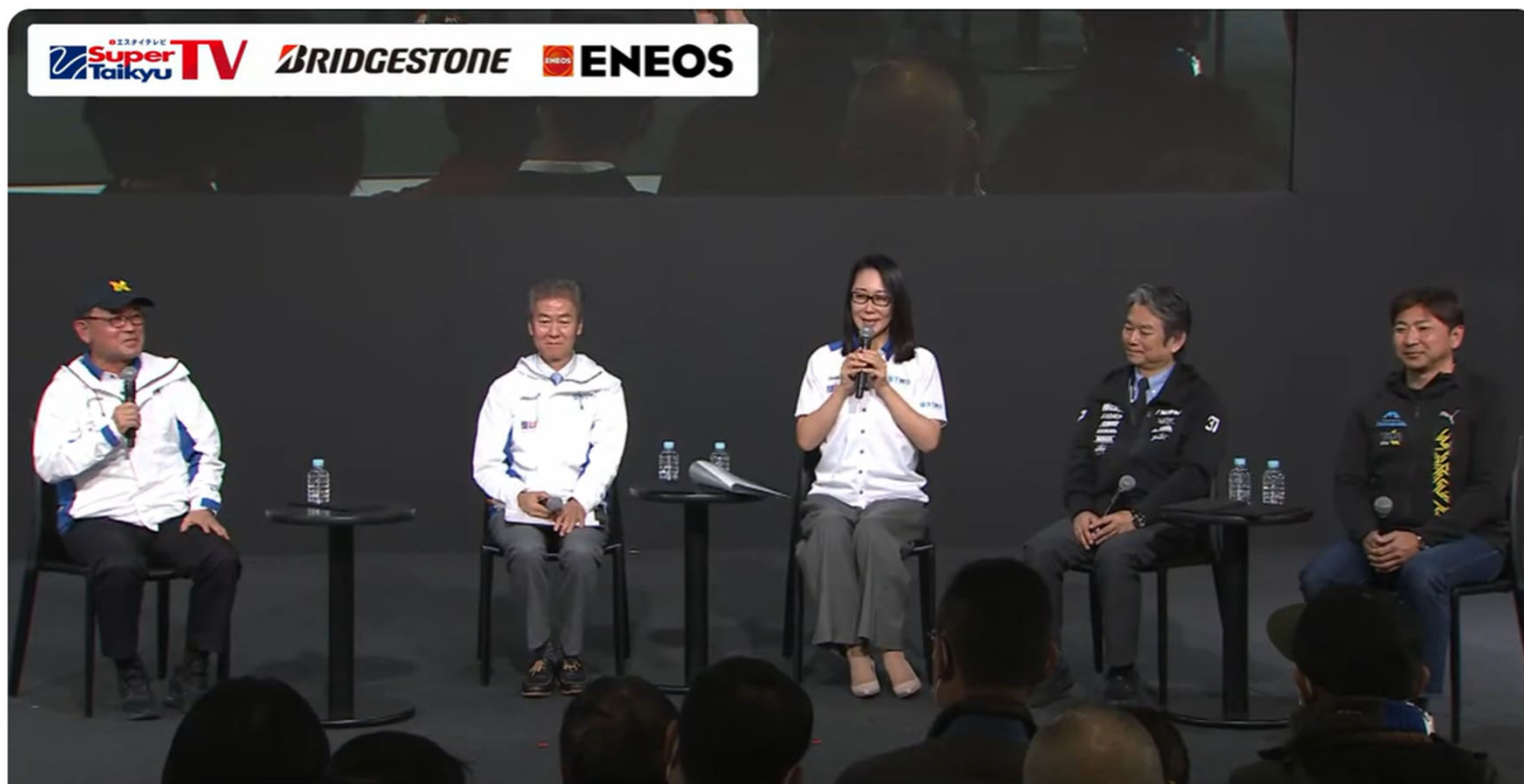
アマチュアドライバーを育成する新カテゴリー
新たなドライバーたちの挑戦を全力でサポート

NEAR
FUTURE

レース初心者の入門カテゴリー

レースを知らないドライバーが基礎を学びながら
実践を通じてスキルを磨ける育成カテゴリー
経験を積み、次のステージへステップアップ

公開理事会にて「S耐チャレンジ」の実施を決定



BRIDGESTONE **ENEOS**

《S耐TV》スーパー耐久未来機構 (STMO) 公開理事会@東京オートサロン

本年1月 東京オートサロン
(トヨタブースにて)

2. 「S耐チャレンジ」概要説明

「S耐チャレンジ」の概要

開催概要

1. 名称：S耐チャレンジ
2. 開催予定イベント数
 - ① 2025年 1 イベント 11/15（土） S耐・最終戦 富士大会にて
 - ② 2026年 3 イベント（予定）
3. イベント形式：決勝60分間のミニ耐久レース
4. イベント格式：模範走行行事として開催
5. 参加資格：国内A級ライセンス保有者（※国際ライセンス保有者はエントリー不可）
6. イベント主管：一般社団法人 スーパー耐久未来機構

「S耐チャレンジ」の概要

S耐チャレンジを特徴づける主なルール

参加チームの構成

- ・ドライバー：2名1組
- ※国内A級ライセンス保有者
(国際ライセンス保有者はエントリー不可)
- ・ピットクルー：3名まで

予選

- ・ドライバー2名の合算タイム

決勝

- ・60分ミニ耐久レース形式
- ・ドライバー交代1回義務付け
- ・レース中のガソリン給油なし
- ・ピットイン時にタイヤローテーション実施
- ・車両同士の接触はノーポイント

他にもゲーム性を織り込み、入門者が入りやすい雰囲気づくりを目指す

車両規則

- ・車両：Nゼロ規定
- ・ECU：ノーマルのみ（リミッター付）
- ・タイヤ：POTENZA RE-71RS指定
※参加者にて各自購入持ち込み、加工禁止
- ・使用義務付け部品
 - ロールケージ
 - バケットシート
 - 4点式以上のシートベルト
 - サーキット用ブレーキパッド

- ・排気量：
第1回大会
 - ・1,500CC以下の普通車
 - ・軽自動車
※来年以降、順次拡大
- ・クラス分け：
車両別クラスを設置
例：ヤリスクラス、ロードスタークラス、等

車両例



ワンメイクレース車両



軽自動車

なお、レンタル車両クラスは2026年以降の導入を検討中

クラス分けの構想

	クラス	規定	主な車両例	
2026年 拡大 検討	1クラス	排気量 2,400ccまでの車両	GR86(ZN8)、現行BRZ(ZD8)、他	青字はワンメイクレースの設定がある車両
	2クラス	排気量 2,000ccまでの車両 ↑ 2年目以降、拡大	TOYOTA 86(ZN6)、BRZ(ZC6)、 ロードスターRF、他	
2025年 実施 クラス	3クラス	排気量 1,500ccまでの車両	ロードスター、ヤリス、スイフトスポーツ、他	
	4クラス	排気量 660ccまでの車両	N-ONE、コペン、他	
2026年 拡大 検討	EVクラス	Eパワー、EV車両		<ul style="list-style-type: none"> ・ エントリーに応じ車種別にクラスを編成 ・ 安全教育を実施の上、混走にて実施
	HVクラス	ハイブリッド車両		
	Qクラス	試験・開発目的車両		
2026年 拡大 検討	レンタル車両でのエントリーも企画（予定）（86・ヤリス・BRZ・ロードスター・その他）			出走台数：最大50台程度

2025年は小排気量クラスから立ち上げて、車種別にクラス編成。
レンタル車両は2026年～導入を目指す。

3. 指定タイヤについて

指定タイヤについて (BRIDGESTONE POTENZA RE-71RS) 7



ポテンザ アールイー・ナナイチアールエス

POTENZA
RE-71RS



コンセプト

- ◆ ストリートからサーキットまで、年間を通じ想定されるあらゆるコンディションにおいて高いDRY、WET GRIP性能を発揮するスポーツタイヤ

発売サイズ・発売時期

- ◆ 発売サイズ : 65サイズ 13~20インチ
- ◆ 発売 : 2020年2月

レース採用実績

- ◆ 2023年 スーパー耐久シリーズ ST-5クラス
- ◆ 全日本ジムカーナ PEクラス・PNクラス、他

※軽自動向けには別銘柄のタイヤを検討中



STMO

Super Taikyu MIRAI Organization